

学校教育目標

ふるさとを愛し 自ら学び心豊かにたくましく生きるこどもの育成

○教育諸法規
・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領等

○しまね教育魅力化ビジョン
【ふるさと島根を学びの原点に 未来にはばたく 心豊かな人づくり】

○松江市「学校教育プラン」
・確かな学力を育成する教育
・豊かな人間性を育む教育
・健康と体力を増進する教育
・松江市の特色を生かした教育

○松江市教育大綱
(R4～R11)

■基本理念■
DREAMS from MATSUE
＜基本方針Ⅰ＞
生きる力を持ったこどもたちの育成
＜基本方針Ⅱ＞
一人一人の育ちと学びを支える体制づくり
＜基本方針Ⅲ＞
こどもたちの教育環境の充実
＜基本方針Ⅳ＞
生涯にわたり心豊かに学び合う環境づくり

めざす子ども像

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育成する

○ **ほ**ん気で考える子 【自ら学ぶ子(知)】
主体性(めあてや見通しをもって学ぶ姿勢)
協同性(友達と学び考えをより広め、より深める姿勢)
を身に付けている子

○ **つ**よい心を持った子 【思いやりのある子(徳)】
社会性(規範意識、責任、判断力、礼儀、ふるまい)
人間性(思いやり、感動する心)
を身に付けている子

○ **き**ょうも元気な子 【たくましい子(体)】
基本的な生活習慣(早寝、早起き、朝ごはん)
たくましい心と体(物事を最後までやり遂げる気力、体力)
を身に付けている子

○ **つこ**のまちを大切に使う子
【ふるさとを愛する子(知・徳・体)】
ふるさと(法吉、松江市、島根県、日本、世界)を愛する心
地域の「ひと・もの・こと」とふれあい、楽しむ心を身に付けている子

千鳥の杜学園
めざす児童・生徒像
・すすんで学び合い、創造しようとする児童・生徒
・思いやりの心をもって、他の人と協力して活動する児童・生徒
・心身共にたくましく、健康で最後までねばり強くやりぬく児童・生徒

小中一貫してめざす
千鳥の杜学園のこども
・あいさつができる
・相手意識をもって話を聴くことができる
・自分の思いを伝えることができる

キャッチフレーズ

ほっきっこをめざして

「伸びる」ために、「やってみよう」「がんばりぬこう」

めざす学校像

一人一人(児童・教職員・家庭・地域)が一人一人を大切にする学校

○一人一人が生き生きと輝く学校 ○学びの場として環境の整った学校 ○家庭、地域との連携を大切にする信頼される学校

めざす教職員像

子どもの成長を共有できる連帯感のある教職員集団

○専門職として 専門性、授業力の向上(学び続ける教職員)
○組織人として 協働性、使命感(協働し「心理的安全性」が保たれた教職員)
○社会人として 規範意識、責任感(信頼される教職員)

経営の基本方針と重点～ ふるさとへの感謝と誇り、愛着を育て、将来を担う子どもの育成を図る ～

①全ての教育活動を「人権教育と特別支援教育」を基盤に推進

- ・実態把握と児童理解を基盤に、認め・ほめる指導「ポジティブ行動支援」と児童の「自己決定力、自己有用感」を高める指導
- ・道徳教育と関連させた指導の充実
- ・校内外との交流、集会活動をととした人権感覚の醸成
- ・関係機関と連携した特別支援教育の推進
- ・自発的な研修をととした教職員の指導力向上

②学力育成「誰一人取り残さない授業」への挑戦

- ・授業改善(UDの授業、対話による学び合いの充実)
- ・図書館活用教育の推進と家庭学習の習慣化
- ・ICT機器の効果的な活用方法の探究

③「地域の教育力」を活用した学びの推進

- ・夢や希望を育む「人に学ぶ体験」「本物・感動体験」の推進
- ・ともに活動し貢献する学習活動の推進

④家庭、地域と連携した「健康教育、安全教育」等の推進

- ・基本的な生活習慣の確立とメディア教育・健康教育の推進
- ・情報発信や細かな相互連絡による家庭・地域との連携強化
- ・教職員の危機管理意識の向上
- ・発達段階に応じた様々な運動経験をとおした体づくり

令和7年度の最重点事項

R6年度の学校評価を踏まえて ※(%)は児童の評価値

■良さをさらに伸ばしたいところ

- 学校やクラスが楽しい(94%)
⇒キャッチフレーズに基づき全校指導、支援
- ふるさと法吉のことが好き(96%)
⇒「人に学ぶ体験」「本物・感動体験」を発掘

■良くするために、改善していきたいところ

- 自分の思いや考えを伝えている(71%)
⇒授業や生活の中で、「説明する力」をつけていく
- 好きな本を探して読書したり調べたりしている(74%)
⇒読書習慣と調べる学習を充実させていく
お便り等で実践を積極的にお知らせする
- 気持ちのよいあいさつや返事をしている(81%)
⇒家庭・地域と共同で、あいさつ・会釈を勧める
- メディアや食事について(2つとも70%台)
⇒課題を共有し、科学的な情報等をもとに取り組みを進める